

2022 9/13

No.2170

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



秦野市の文化会館市民広場で8月、平和への思いを込めた「ピースキャンドルナイト」が行われた。約4千個のともしびが会場を包んだ。



視点点描	3
「早送り」する若者たち	
講演録	4
「市長就任後1年を迎えて」 横浜市長 山中 竹春	
政治	8
国葬は旧統一教会の思うつぼ 法的根拠あいまいで無理筋	
経済双眼鏡	12
歯止めのない概算要求 軍備拡張は生活圧迫	
風人来人	13
そして誰も責任をとらない	
企業最前線	14
培養肉の商用化へ向け布石 大学、スタートアップと連携	
神奈川県景気データファイル	16
かながわTODAY	18

### 事務局だより

#### ◇2022年9月の講演会

9月21日(水)午後1時30分～3時

メルヴェーユ「ヴァランセ」  
(県民共済プラザビル6階)

講師：共同通信社外信部次長  
芹田 晋一郎氏

演題：「習近平政権3期目と東アジア安保」

#### ◇2022年10月の講演会

10月24日(月)午後1時30分～3時

ロイヤルホールヨコハマ5階  
「リビエラの間」

講師：台北駐日経済文化代表  
処横浜分処処長 張 淑玲氏

演題：「直近の台湾情勢及び台湾と日本の絆」

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況によって中止する場合があります。

【お知らせ】神奈川県政経懇話会では、会報「政経かながわ」に会員コーナーを設け、新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045(226)2121。

【訂正】8月にお送りした「神奈川県政経懇話会会員名簿」で誤植がありました。11ページの役員名簿は「2022年7月現在」、12ページの定例講演会録は「2021年度」のものです。

# 視点 点描



## 「早送り」する若者たち

「コンテンツの見極めは厳しい世代だと思います」。先日、インターシップで来社した大学3年の男子学生が言った。物心ついたころからスマートフォンに接し、LINEやツイッター、インスタグラムなどSNSで情報を発信し、地元の仲間や大学の同級生らとつながる、いわゆるZ世代だ。それぞれのコミュニケーションでの

会話についていくために、流行のドラマや漫画、映画をチェックする。日々膨大に接する情報に対し、自分に必要なもの、そうでないものを即座に判断していく忙しい世代だ。こうした若者の消費スタイルを深掘りした書籍「映画を早送りで見ている人たち」（光文社新書）が売

稲田豊史さんの話を聞く機会があったが、その中身はなかなか衝撃的だ。

あるアンケートでは、動画コンテンツの倍速・10秒飛ばしの習慣がある20代の男性は5割余り、女性も4割を超えたそうだ。対象はドラマやニュース、バラエティー、映画、ユーチューブなど。理由は「本数をこなすには時間がない」「アクションだけ観たい」「押し」の俳優のシーンだけでいい」など。

なぜ彼ら・彼女たちは「急ぐ」のか。確実なのは、共有されている作品が多過ぎること。無料のメディアは数多くあるし、有料の動画配信サービスにも名作映画や話題となったドラマが一生かかっても観られないほど並び、さらに増え続けている。だから、限られた時間で、できるだけ効率的な消費をしたいのだ。つまり自分の貴重

な時間を差し出すのに「失敗したくない」という感覚。なるほど、程度の差こそあれ、その気持ちはよく分かる。

さて、冒頭の男子大学生に新聞記事についても聞いてみる。家庭で新聞は取っていないかつたので、購読の習慣はない。いざ新聞を読もうにもスマホの縦スクロール画面に慣れているため、紙独自のレイアウトは読みづらい。そのため普段はウェブ上でニュース記事に触れるのだが、見出しと最初の書き出しが重要で、続きを読むかどうかの見切りは早いという。

若者の率直な意見にうなずくと多々。それだけに、新聞読者やウェブユーザーにニュースを届ける、われわれ作り手にとって、ますます難しい時代になっている、とあらためて実感したのだ。

（神奈川新聞社統合編集局次長  
デジタル編集担当・牧野 昌智）